

活用可能な船舶を迅速に抽出する プログラムについて

活用可能な船舶を迅速に抽出するプログラムについて

目的

災害発生時に実働省庁や緊急災害対策本部等から船舶の手配依頼があった場合に、活用ニーズに応じた船舶の候補を迅速に抽出することを目的とする。また、平時においても、各自治体等でマニュアルを作成する際の基礎データとして提供することも可能。

活用イメージ

1. 災害発生

2. 船舶による活用需要の発生

3. 活用可能船舶の選定(システム活用)

- 港湾に着岸可能な船舶の抽出
- 輸送内容(人数・物資)、ホテルシップ等の活用ニーズに応じた船舶の抽出

4. 抽出した船舶から実際に活用可能な船舶を確保

システムのデータ項目(案)

○ 想定される船舶活用ニーズ

- ・ 人員の輸送
- ・ 車両の輸送
- ・ ガソリン等燃料油輸送
- ・ ホテルシップ等被災者支援機能

※ 船舶特定に必要なデータについては、運用開始以後にも追加できるようにしておく。

	マッチングに関する項目	輸送ニーズへの対応能力に関する項目	輸送以外のニーズへの対応能力に関する項目	その他必要な項目
船舶情報	船名・船舶番号、総トン数、航行区域、全長・全幅・満載喫水、 サイドランプウェイの有無・長さ、サイドスラスタの有無	船種、旅客定員、車両航送能力、載貨重量トン数、輸送燃油種類、危険物輸送許可の有無、 サイドランプウェイの強度、クレーンの有無	入浴施設の有無、調理室の有無、宿泊可能人数	船舶所有者(連絡先含)、運航事業者(連絡先含)
港湾情報	港湾名、航路幅員、岸壁延長、岸壁水深、港内水域、岸壁天端、係船柱強度、防舷材強度	荷役機械の有無、バックヤードの有無		港湾管理者(連絡先含)

※ 赤字は既存の情報がないため、今回新たに追加する項目として検討しているもの。今後変更の可能性はある。